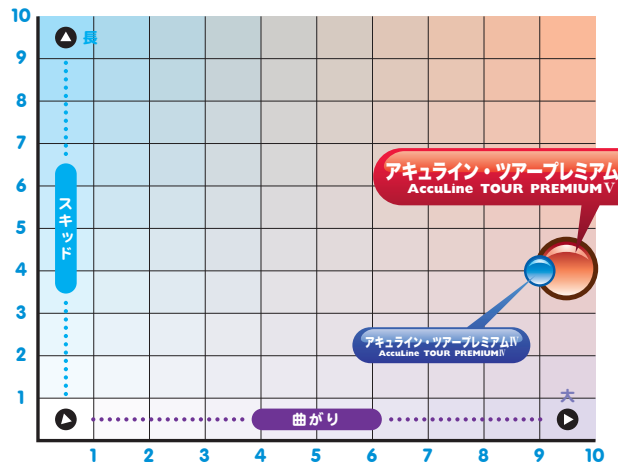
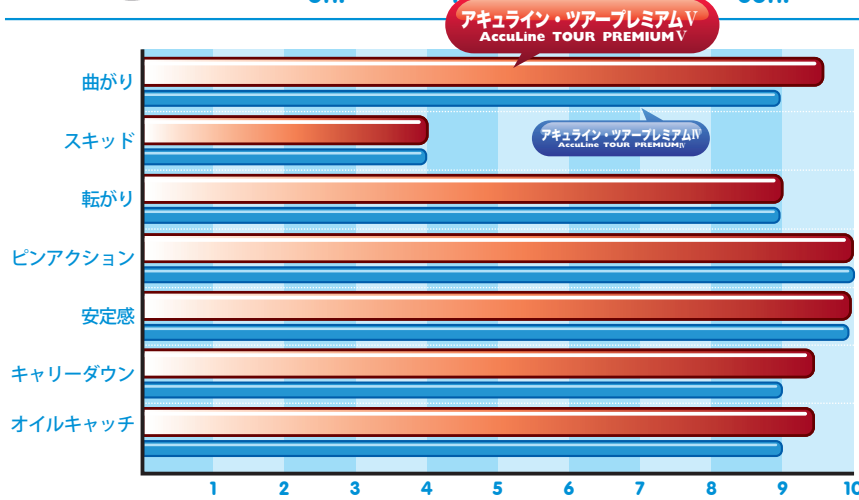
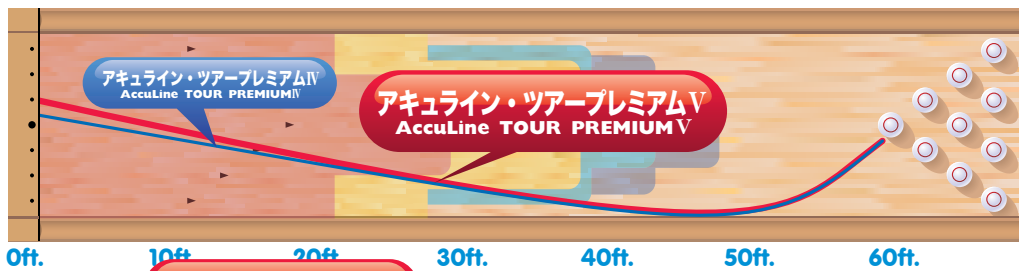
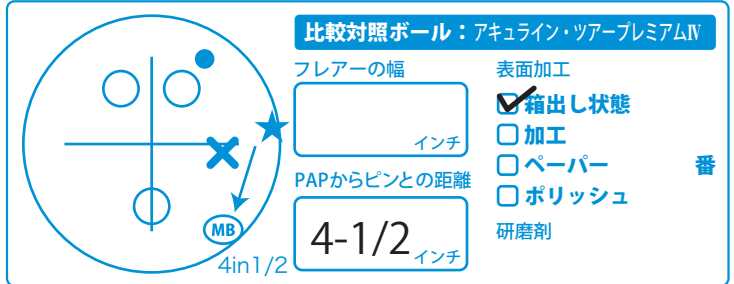
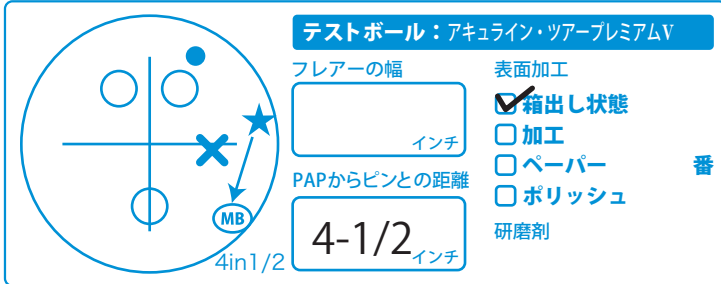


ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アキュライン・ツアープレミアムV	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



ボールの評価

これまでナノデス・ツアープレミアムは、パールから始まり、ソリッド、ハイブリッド、アクティブ・ハイブリッドとナノ・タン2.0を基調とし、素材を変化させパフォーマンスも変化させてきました。特にツアープレミアム4のアクティブ・ハイブリッドは従来のハイブリッドに新たな特殊添加剤を加えた新配合で、ボールモーションをよりアクティブに動かし、純粋なハイブリッドよりもミッドエリアのキャッチとバックエンドの力強さ双方を兼ね備えることができるものです。その特殊添加剤の効果はオイル上の安定感と操作性に磨きがかかり、さらなる進化として多くのユーザーに使用して頂けました。今回発売するナノデス・ツアープレミアム5もアクティブ・ハイブリッド仕様ですが、前回と異なるのは2パール + 1ソリッド配合から1パール + 2ソリッドと配合と比率変更を行い、ツアープレミアム4よりミッドエリアの安定感をさらに上げたことです。比率変更することでツアープレミアムシリーズ中、ソリッド素材を基調としたツアープレミアム2の次にキャッチが強い仕様になりましたが、ポリッシュゆえに十分スキッドも感じますし、ミッドエリアのキャッチは強まりましたがツアープレミアム4同等にバックエンドの動きも健在です。ツアープレミアム5を仕上げるまでに改めて感じたことは、やはりプレミアムコアの存在はツアープレミアムシリーズに欠かせないものだという事です。もちろんナノ・タン カバーストックの恩恵も絶大ではありますが、独特な曲がり始めのイメージと最後まで柔らかく曲がり続けるツアープレミアムを印象付けるモーションはどのシリーズも名乗るに相応しい出来であり、使用者を納得させられるだけの仕上がりです。プレミアムシリーズで長年ユーザーの信頼を獲得し続けるのは難しい。それでもプレミアムシリーズからツアープレミアムに進化していく過程の中でこれだけしっかりと性能が出せることはいかに拘り、日本の気質と匠の製法がこのシリーズを作り上げているということを感じてほしいと思います。

特記事項

ツアープレミアム4のアクティブ・ハイブリッド特殊添加剤の配合と比率変更をすることで、また新たな領域を見出しました。シリーズ中ソリッド素材の次に強く、それでいてしっかりと走りドライエリアのグリップも俊敏です。